

- ①悲惨な災害を忘れない、風化させない為に、現場に災害発生現場の表示をして、新人を含めた全員が現場に出向き実際に装置を作動して、自分の目で見て動作の確認をする見える化で記憶に残り安全作業を実施する。
- ②危険予知トレーニングを映像で確認、グループで演習記憶に残る見える化教育を実施。
- ③実際に現場を見てなぜ災害が発生したのか？安全意識改革が身に付いているかを、自分の目で見たことでの効果確認を実施。

